令和2年1月15日発行

杉本ひろふみ 後援会だより

VOL.5

【発行・編集】
杉本ひろふみ後援会
〒473-0911
豊田市本町高根23番地10
TEL:0565-54-4537
FAX:0565-54-4539

次の世代に繋げていくもの

ラグビー日本代表の活躍で日本中が沸き立った令和元年も終わり、新しい令和の時代の本格的な幕開けです。昭和、平成と私たちが築き上げてきた当たり前と思う日常生活が、人口構造の変化や、いろいろな分野の技術革新、世界情勢の急激な変化により、大きく変わってしまう予感さえあります。

しかし、どのような時代を迎えようとも、安全で安心して生活できる日本を、そして自分たちの地域を、次の世代に引き継いでいかなければいけません。

そういった状況の中で、リニア新幹線開通に向けて名鉄三河線の複線化による輸送力の強化が図られていく今後の8年間は、区画整理事業が終盤に差し掛かる土橋地区、そして駅周辺についてほとんど手つかずの竹村地区ともに、駅を拠点としたまちづくりを進めていくうえでは、大きなチャンスとなっています。

次の世代にも、またその次の世代にもこの地域に暮らしてよかったといわれるまちづくりを目指し、本年もみなさんからのご意見、ご指導をいただきながら一歩でも前に進んでいけるようにしっかりと取組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます。

豊田市議会議員　**杉本 ひろふみ**

産業建設委員長として道路建設促進
河川整備促進の愛知県への要望活動

新しい令和の時代。大きな変化の予感

1.議会報告 令和元年9月定例会（一般質問）

テーマ1. 未来につながる農業の推進

【質問】本市としては地産地食について、今回のラグビーワールドカップ2019を契機とした取組を生かすとともに、あらゆる機会を活用して継続的に取り組んでいく必要があると考える。今後の本市の地産地食推進事業の方向性について伺う。

【その答弁】（答弁者　産業部　前田部長）

これまでに取組を進めてきた既存事業について、３つの取組を行う。

１つ目は、地産地食マルシェのように生産者と消費者が直接交流する機会を拡充することにより、市民の「農業」「農家」に対する理解を推進していく。

２つ目は、市内産地直売施設を周る「産直スタンプラリー」といったイベントなどを通して、市民がとよたの農産物を購入しやすい環境づくりの支援を行っていく。

３つ目は、学校給食地産地食推進事業で、子どもたちが給食を通じてとよたの農産物を知り、理解をする機会を提供していく。引き続き、あいち豊田農業協同組合はじめ関係団体との連携のもと、様々な手法で地産地食を積極的に推進していく。

5月から8月まで月1回豊田市駅前で開催された地産地食マルシェ

テーマ2. 駅前広場を生かしたまちづくり

【質問】駅前再開発事業の集大成として、豊田市らしい機能性の高い広場の整備の検討が進められていると聞いている。大型の屋外型屋根の設置も含め、駅前広場整備計画の今後の方向性は。

【その答弁】（答弁者　都市整備部　栗本部長）

豊田市駅前広場の整備計画として導入する機能は、日常・非日常において多様な来街者が集い、交わることでまちのにぎわいが創出されるまちなか広場と、一般車の送迎用の停車帯やタクシー乗降場等を設置する交通広場となる。

・まちなか広場においては、市民が使いやすく、また来街者が快適に過ごせる空間としていくため、全天候の広場空間を確保する大屋根を設けるほか、水盤やベンチなどの日常的な来街者の滞留を促す機能も設置する。

・大屋根を含め、駅前広場については、市の玄関口としてのランドマーク機能　を持たせながら、人々が集い、憩い、にぎわいあふれる空間を目指して整備していく。

2.令和元年度委員会配属 常任委員会で産業建設委員長に就任

●産業建設委員会【委員長】

産業部、都市整備部、建設部、農業委員会を所管する委員会です。産業・観光振興、農業政策、土地の開発許可や公園の整備、区画整理事業をはじめとするまちづくり、道路や河川環境の整備と市民生活に直結する委員会です。

●議会活性化推進特別委員会

議会基本条例に基づき、前任期中に行ったこれまでの取組を、外部調査機関等の意見を参考に検証し、議会力の更なる向上を目指し、調査・研究を行う委員会です。市民に開かれた議会を目指し、意見を取りまとめます。

●国・県への要望活動

産業建設委員長として、7月に国土交通省中部地方整備局、愛知県、8月に財務省、国土交通省へ、そして11月にも幹線道路推進協議会、河川設備促進協議会のメンバーの一員として豊田市の要望活動に参加いたしました。

●建設中の下山テクニカルセンターを視察

現在トヨタ自動車㈱の新しい開発拠点となる下山テクニカルセンターの建設が進められていますが、10月16日、自民クラブ議員団で、建設中の下山地区の現場に視察に行きました。

トヨタ自動車の本社から車で30分の距離にあり、完成が待たれます。

3.地域の課題 地域バス等の公共交通機関の導入

竹村地区の課題の一つとして、地域の身近な足となるバス等の公共交通機関がないことがあげられます。そのため、自動車の免許を返納した後でも、安心して生活できる環境整備が早急に必要です。

前林地区では、平成12年9月に名鉄のバス路線が不採算により廃止になるのを機に、地域と事業者と行政が一体となって、運営協議会を立ち上げ、地域のバスの利用促進も含めた、「ふれあいバス」の運行は、豊田市の公共交通システムの成功事例となっています。

現在では、バスだけでなく、タクシーを活用するなどいろいろな手法があり、導入に向けて検討を進めていきます。

ふれあいバス運営協議会総会（前林地区）

ふれあいバスＰＲイベント（前林地区）

地域バス導入に向けた意見交換会の開催について

令和２年２月１５日（土）
午後7時より
竜神交流館　多目的ホール
ご自由にご参加ください
詳細は、杉本まで
090-1725-2280

Topics　平成から令和へ　今年の竜神地域のトピックス

平成31年1月　【西田町地区】
元旦の早朝に執り行われる
西田町神社元旦祭

令和元年5月　【土橋地区】
車いすを使った避難訓練を実施
中学生もボランティアで体験

令和元年5月　【本町地区】
本町の田んぼアートの田植え
今年はどんな絵柄かな？

令和元年6月　【竹中地区】
初音川ビオトープ植物観察会
小雨の中 外来種を駆除

令和元年7月　【竹村小学校区】
ぽんつく大会 今年もどろんこに！
田んぼの中に笑顔があふれる！

令和元年8月　【竹上地区】
子供たちの健やかな成長を願う
伝統ある地蔵盆とこども相撲

令和元年11月　【竜神中学地区】
毎年恒例の太田市長の市政報告会
今年も200名を超える区民が参加

令和元年12月　【竹下地区】
竹下ウォーキング大会
元気に歩いた後のお餅は最高！

スナップショット Snapshot

平成の時代の終わりに迎えた、2回目の選挙。

バトンを受け継いだ最初の4年間をどう評価されるのか、不安でいっぱいだった。

多くの人に支えられ、励まされた選挙戦だった。この時の気持ちを胸に、期待に沿えるよう次の4年間を頑張る！

編集後記

市議会議員として2期目を迎えた。1期目は与えられた仕事をこなしていくだけで精一杯だった。時間の経過が本当に早い。2期目のうちに今後の地域のまちづくりの骨格だけはしっかりと決めていきたい。

また、2期目の4年間は、今の豊田市の総合計画の後半の4年間に当たる大切な時期。次の総合計画に地域の課題が反映されるように、地域の声をしっかりと届けなければいけない。

お問い合わせ先

ご意見・お問い合わせは、右記よりお願いいたします。皆様より頂いた貴重なご意見は、今後の活動に活かしてまいります。

杉本ひろふみ後援会事務所
〒473-0911　豊田市本町高根23番地10
TEL / FAX：0565-54-4537